

諸外国の客室乗務員の働き方

令和7年11月
安全政策課

○第1回目検討会での議論をもとに、諸外国の客室乗務員の働き方について、ヒアリングを実施※。
○編成数の考え方に差はあるものの、サービス時の対応や機内休息の取り方については、同様の対応とのこと。

※全数ヒアリングではなく、サンプリングヒア

	日本	米国	欧州
編成数	・最低人数(50人に1人)に、サービス等を考慮し、数名を追加した体制	・最低人数の体制 休養取得が必要なCAを帰宅させるために人員追加する場合あり	・最低人数の体制 一部の国では、旅客数に応じて編成数を変更
サービス時の対応	・保安業務時間の確保等から、サービス時は、全員で対応	・保安業務時間の確保等から、サービス時は、全員で対応	・保安業務時間の確保等から、サービス時は、全員で対応
機内休息の取り方	・巡航中、複数グループに分かれて休息を取得	・巡航中、複数グループに分かれて休息を取得	・巡航中、複数グループに分かれて休息を取得

